

グループ演習

「製品・サービスの環境側面を理解する」



指示

- ◆ 講師の指示に従って、A,B,C,D,の4つのグループに分かれてください。
- ◆ グループごとにリーダー、書記、発表者を決めてください。
- ◆ 自社製品「自動車用スクリュー・金具類」のライフサイクルプロセス図を作成します。プロセス図は、付図1に講師が事前に作成してありますが内容に誤りがないか確認してください。
- ◆ Aグループは領域A、Bグループは領域B、Cグループは領域C、Dグループは領域Dを受け持ちます。
- ◆ 演習終了後、各グループごとに結果を発表してください。

演習

1. 該当するプロセスに適用される法規制をリストアップしてください。

例 領域A メッキ：水質汚濁防止法、劇毒物取締法

領域B 金型製作：騒音規制法、振動規正法

領域C 切断：騒音規制法

領域D 廃棄：ELV指令（欧州に輸出された場合）

（気をつくものだけで結構です。後程 法規制の解説があります）

2. プロセスのインプット、アウトプットより環境側面を抽出し、重要な環境影響を考察してください。

例

領域	該当プロセス	環境側面	環境影響（有害）
A	運送 メッキ	車からの N2O、CO2 の排出 シアン、クロム等の流出	大気汚染、地球温暖化 水質汚濁、湿地生息環境の悪化
B	金型の製作	プレスからの騒音の発生 電気の使用	地域住民に与える不快感 資源枯渇、地球温暖化
C	切削・研削	廃油の生成	土壌汚染
D	開梱 廃棄	ダンボールの廃棄 ボルトからの六価クロム漏洩	土地利用（処理場の不足） 有毒物質の蓄積、土壌汚染

3. 重要な環境影響に対して、月星製作所が管理できる（B、Dグループのみ）、及び影響を及ぼすことができる（全グループ）有益な影響を与える環境側面を抽出して下さい。

例

領域	該当プロセス	環境側面	環境影響（有益）
A	運送 メッキ	協力企業巡回車納品制度 メッキ業者の認定	大気汚染、地球温暖化の回避 水質汚濁の回避
B	金型の製作	CADAM に活用による金型 試打回数の短縮	地域住民に与える不快感の低減、 資源の保全
C	切削・研削	廃油のリサイクル	土壌汚染の回避
D	開梱 廃棄	通い箱の利用 耐食性のある三価クロムボ ルトの開発・提案	廃棄物の低減 有毒物質の蓄積の回避

4. グループとして環境側面を評価し、著しい環境側面を決定してください。
 今回は演習ですので、評価基準は下記による簡単な評価とします。

(1) 有害な影響を及ぼす環境側面（環境リスクの場合）

・・・A、Dグループの方はこの評価不要です。

環境側面	環境影響	評価シーケンス				著しい環境側面の決定
		法規制で守るべき基準値が定められている	過去の苦情を受けた、或は周辺住民が脅威を受けるものである	顧客からの要望や企業イメージを変えるほどの関心事である	資源の使用量が大きい	

(2) 有益な影響を及ぼす環境側面・・・全グループ必要です。

環境側面	環境影響	点数評価				著しい環境側面の決定
		効果 環境影響の改善	投資費用/ 価格及び経済性	顧客の評価又は 対外イメージの改 善の程度	× ×	

評価点の基準

環境影響の改善効果

- 3点：大きな効果がある
- 2点：効果がある
- 1点：僅かに効果がある

投資効果 / 価格及び経済性

- 3点：投資回収年 2 年以内又は、購入価格が下がるか、変わらない
- 2点：投資回収年 4 年以上又は、購入価格が僅かに上がる
- 1点：投資回収年 8 年以上又は、購入価格が上がる

顧客の評価又は対外イメージの改善の程度 / トップの関心が高い

- 3点：顧客の満足度の向上に貢献し、対外イメージもあがる
- 2点：顧客の満足度の向上に貢献する / トップが関心を持っている
- 1点：顧客の満足度とは関連がない / トップの関心も低い

8 点以上を著しい環境側面とする。

付図1 自動車用スクリュー・金具類のライフサイクルプロセス図

